



「じゃあやっぴ」

松商野球部OB会長

高根 基



初夏の候、会員各位におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は松商野球部OB会の活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、4月14日の熊本地震で被災された会員に心よりお見舞い申し上げます。早い復興と一日も早く以前の生活に戻れるようお願いいたします。

昨年は24年ぶり第87回選抜高等学校野球大会出場に我々OBも大喜びしました。甲子園球場での「雄々しき連峰」が歌えず夏に期待しましたが準決勝で敗退、新チームでの秋季北信越大会も本大会で敗れました。3月8日に三年生部員38名全員が卒業し、進学、就職それぞれの道で活躍してくれることと思います。4月には、新一年生33名が入部し有望な部員が多く今後に大いに期待したいと思います。同時にOBで平成12年度卒松本匡礼君がコーチに就任し力強く思っています。

夏の選手権大会、特に甲子園出場に向けては、部員、監督を含む現場スタッフ一丸となって頑張っています。OB会としても支援をしているところですよ。

4月21日「松商野球部を強くするには」と題して高山一栄常務理事（元OB会長）の配慮により学校側とOB会役員3人による第一回懇談会を開きました。現在起きている諸問題について意見交換をし、年に数回開くことに合意しました。

野球部を強化するにはお金がかかります。現在野球部員の負担が多いのも事実です。OB会としていくらかでも強化費として支援していきたいと思えます。母校野球部強化のため、多くのOBから年5000円以上の会費納入について、ご理解、ご協力を重ねてお願い申し上げます。終りに会員各位のご健康、ご多幸を祈念してご挨拶とさせていただきます。

「お礼とご挨拶」

松商学園高等学校硬式野球部部长

山口 泰志



日ごろより先輩方におかれましては、硬式野球部の活動にご支援、ご理解をいただき心より感謝申し上げます。

本年度も、各地区の硬式野球部OB会に参加させて頂き、会員の諸先輩方の母校への野球部に対する思いや、期待の深さに感嘆いたしました。それと同時に「結果を出さなければいけない」という思いを私自身感じた次第です。また地元はもとより、京浜地区・関西や新潟地域の先輩方にも大変お世話になりました。この場をお借りし、御礼申し上げます。さて、本年度は本校に41名の生徒が入学し、そのうち硬式野球部に33名の新部員が入部し総勢109名となりました。部員数の多い中、本年のスローガン「一球同心」を合言葉に心一つになるよう邁進しております。

今年には幸いに暖冬で雪も少なく、グラウンドコンディションは比較的良く2・3年生は冬を乗り越え一回り体も大きくなりパワープレイが出来るようになってきております。それに加え本年度より松本匡礼（まさひろ）コーチを迎え、より一層技術強化ができるものと期待をしております。昨年同様全選手が足立監督をよく信頼し本当にまとまった素晴らしいチームに成長していると実感しております。選手、われわれスタッフ一同が目指すのは甲子園で1回でも多く校歌を歌うこと。そして「全国優勝」です。多くの先輩方に支えられながら今後もご期待に答えられるようスタッフ一同精進して参りますので、なにとぞ変わらぬご声援をお願い申し上げます。

「甲子園に呼ばれるチーム」

松商学園高等学校硬式野球部監督

足立 修



日頃より硬式野球部に対し、暖かいご支援ご声援を賜り厚く感謝申し上げます。本年も有望な新入部員が33名加わり、総勢109名の野球部となりました。

本年のチームスローガンは「一球同心」全てに感謝・我武者羅に」です。支え応援してくださる全ての方々へ感謝し、恩返しするためにも我武者羅に野球と向き合う。そして全ての部員が同じ思い（魂）を一球に込めて試合に臨むという意味です。

本番ではチームの結束が大切です。チームの結束はそれだけではなりません。日頃が大切になります。今は上級生が率先してグラウンド整備を行い、ゴミを見つけたら拾い、そういった毎日の心がけを大切に行っています。上級生の後姿が後輩にとって何よりの教育であり、チームにとってのお手本となります。姿勢なわち心、と言われます。日常の基本的実践を通して、人間力や人格といった人としての土台を身に付けています。人間の成長なくして技術の進歩はありません。

あと1ヶ月後に迫った夏季大会。一人ひとりの成長過程を大切にし、最終的には何事にも動かない不動心を持って、チーム一丸となって大会を迎えたいと思えます。選手たちは必ずや甲子園に呼ばれるにふさわしいチームになって目標を達成してくれるはずですよ。毎年毎年選手は入れ替わります。最上級生になった選手にとって甲子園に対する思いは計り知れません。OBの皆さんもそうだったと思います。どうか最後の最後まで応援してください。よろしくお願いたします。

第134回北信越地区高等学校野球大会 (春季) 結果



写真提供：長野スポーツマガジン社

中信地区予選

- 松商学園 5-4 創造学園
- 松商学園 8-1 都市大塩尻 (代表決定戦)
- 松商学園 1-4 松本第一 (準決勝)
- 松商学園 3-2 池田工業 (3位決定戦)

長野県大会

- 松商学園 4-2 諏訪清陵
- 松商学園 8-7 長野商業 (準々決勝)
- 松商学園 12-8 上田西 (準決勝)
- 松商学園 1-7 松本第一 (決勝)

北信越大会

- (一回戦)
- 松商学園 5-6 高岡商業 (富山県)
- (県大会準優勝)
- (北信越大会4季連続52回・春季2年連続19回目出場)

今後の試合 (遠征予定)

8月	7日(日) ~ 21日(日)	第98回全国高等学校野球選手権大会 (甲子園)
	9日(土) ~ 24日(日)	第98回全国高等学校野球選手権長野大会 (松本 長野 上田 諏訪)
	3日(日)	(A)日川 高崎商 (松商学園グラウンド)
7月	2日(土)	(A)健大高崎 聖望学園 (健大高崎グラウンド)
	3日(日)	(B)田川 (松商学園グラウンド)
	26日(日)	(A)愛工大名電 (愛工大名電グラウンド) (B)関東一 幕張総合A (関東一グラウンド) (C)都市大塩尻 (松商学園グラウンド)
6月	4日(土) ~ 7日(火)	第134回 春季北信越大会 (福井県)
	11日(土)	(A)桐蔭学園 (桐蔭学園グラウンド) (C)松本工業 (松商学園グラウンド)
	12日(日)	(A)横浜 宮崎商 (横浜グラウンド) (B)小諸商 佐久長聖 (長聖越生グラウンド) (C)創造学園 南安曇農業 (松商学園グラウンド)
5月	18日(土)	(A)東海大甲府 大山 (愛知東邦大学日進グラウンド) (B)松代 (松商学園グラウンド) (C)伊那弥生ヶ丘 (弥生グラウンド)
	19日(日)	(A)三重 (三重グラウンド) (B)東野 (埼玉) (松商学園グラウンド) (C)穂高商 (穂高商グラウンド)
	25日(土)	(A)県岐阜商業 (未定) (B)袖ヶ浦 市立船橋 (市立船橋グラウンド) (C)田川 (松商学園グラウンド)

オープンスタイルとなったベンチ

平成28年新たに設置されたラバーフェンス

現在のグラウンドと装備

父兄より寄贈された観戦用ベンチと、現在の土手風景

平成27年卒業記念として新しく改修されたスコアボード

古い信号機を利用して作られたカウントボード

(写真・文責：小口卓哉)



四賀運動広場改修記念 松商学園 VS 早稲田実業

平成28年5月29日(日) 松本市四賀運動広場



1980年5月25日に四賀運動広場のこけら落としが行われました。

当時、硬式野球部に所属していた私も地元ということでメンバー入りし試合に出場させてもらいました。あの時のうれしさと感動は今でも心に残り、いつかあの時の恩返しをしたいと思います。

そんな折、四賀運動広場が今秋から改修工事が始まると聞き、四賀出身の宮川昇さん(68回卒)を始め当時お世話になった方を中心に有志で実行委員会を作りました。

いくつかの案の中で、お別れ試合を当時の対戦カードでできないものかという話になり、足立監督に相談したところ、早稲田実業学校の和泉監督と早稲田大学時代野球部でバッテリーを組んでいた事もあり、快諾していただきました。

当日は朝から晴天で、長野県中からこの試合を楽しみに千五百人の方が来場しました。

試合では、清宮幸太郎選手の2試合3ホームも生まれ、夢のような試合が行われました。試合の間には、和泉監督のご協力で当時一年生で先発した元プロ野球選手、荒木大輔さんをお招きし、子供達に野球教室を開催していただきました。

大ちゃんワイバー発祥の地で、清宮君のワイバーと何かの縁を感じずにはいられません。

試合は早稲田実業学校のコールド勝ちに終わりましたが、当時ここで試合をした2校が夏に甲子園出場を果たした事もあり、両校には夏に向け、ますます練習に励み、共に甲子園出場の夢をかなえて欲しいと願います。

また、四賀運動広場の新球場ができる際には同カードでのこけら落としが出来ればと思います。

(文責 本郷剛史・80回卒)



写真提供：長野スポーツマガジン社、松商・早実招待試合実行委員会

絵：ヤボンスキー小林画伯(松商学園軟式野球OB)



小林 昭仁氏 (旧姓 藤澤)

平成 27 年 8 月 28 日ご逝去

享年 86 歳



平成 25 年 5 月
創部 100 周年記念
試合にて

松商、専修大学で捕手として活躍。昭和 31 年駒沢大学野球部監督に就任。昭和 37 年春、リーグ戦初優勝。昭和 39 年には決勝で早稲田大学に勝ち大学選手権を制し、その年開催された東京オリンピック（公開競技）の日本学生代表チームの監督を務める。

昭和 49 年から専修大学野球部監督に就任。昭和 53 年春、リーグ戦優勝を果たし、同年の日米大学野球では同郷の日本代表、明治大学野球部島岡監督をコーチとしてサポーターし優勝に導く。

昭和 58 年には拓殖大学野球部監督に就任し、同校の一部昇格の基礎作りを果たす。3 大学の教え子には多くのプロ、アマ野球界で多数の監督、選手を輩出。松商野球部からも多数の選手、マネージャーが入学し指導を受けた。

勇退後は東京吉祥寺の老舗乾物店を営む傍ら、松商グラウンドへ度々足を運ばれ後輩の指導にあたった。

(文責 圓山 徹)

池田 政雄氏

平成 27 年 10 月 21 日ご逝去

享年 81 歳



昭和 52 年 8 月
甲子園球場にて

1950 年 松商学園入学。故胡桃沢清監督の下、3 年連続で夏の甲子園大会に出場。

3 年時には主将として春夏連続甲子園でプレー。卒業後は明治大学に進み、故島岡吉郎監督に鍛えられる。

1975 年母校監督に就任。75 年より 6 年連続夏の甲子園大会出場を果たす。(当時の連続出場記録である)

教え子の中には、坂神隆広(日本ハム)・川島正幸(ロッテ)・川村一明(西武↓ヤクルト) 小尾淳美(元監督)・足立修(現監督) 多士歳々な選手を育てた。ご冥福を願う。合掌。

(文責 太田浩行)

『小林昭仁駒大前監督との
出会いと思い出』

私が現在(75歳)まで大好きな野球一筋の人生を送ってこれたのは高校時代の胡桃沢監督と、大学時代の小林監督のおかげだと思っています。

野球一筋とは、高校、大学は勿論、仕事としてプロ現役(12年)、球団フロント(31年)NPBで通算43年、独立リーグ(信濃グランセローズ)現在まで10年まさに野球一筋の人生です。好きな野球の世界で職業として生きてこれたのは、小林監督との出会いがあったからです。

松商を卒業し大学をどこにするか悩んでいました、行くことと決めていた大学がありました。小林監督はそのことを知っていました。親身になり熱心に駒大に誘ってくれました。話を聞いていたうちに、この監督さんの下でやりたいという気持ちに変わってきました。もう一つ後押しになったのは駒大に松商の先輩が居たのも大きかったです。無事駒沢大学に入学でき、私が今あるのも小林監督のおかげだと感謝しています。

今思うに最初に行こうと思っていた大学に進んでいたから野球部は途中で退部し、野球界から去っていたと思います。あまりにも環境が違っていました。そんなことを思うと、小林監督は素晴らしい道に導いてくれたと思っています。

大学に入り、まずビックリしたのは、小林監督は選手より先にグラウンドに出てグラウンド整備をしていました。私を誘っていた時にも感じましたが、その姿を見て、監督は野球が好きと同時に情熱の素晴らしさも改めて感じました。来て良かった、優勝をして恩返しをしようと自分に誓いました。私が入学したときは、駒大は東都大学リーグで優勝が二度ありませんでした。

私も小林監督の指導の下に、レギュラーになり、首位打者を二回もとることができました。そんな中、小林監督の素晴らしい指導の下に、4年の春のシーズンに(S37年・春)駒沢大学が東都大学リーグ、一部で初優勝することができました。勿論自分も嬉しかったですが、小林監督にも自分一人の力ではありませんが、恩返しが出来たのではと喜びに浸りました。

卒業後もいるいるな形でお付き合いをさせていただき、卒業生もみな慕っていました。野球大好きな『親父さん』でした。

三澤今朝治(58回卒)

<p>能勢 頼明 (第57回卒) 0263-32-1489</p>	<p>宮下 貴光 (第59回卒) 0263-92-2578</p>	<p>(株)丸谷工業 OB会顧問 丸谷 義一 (第60回卒) 0263-25-4008</p>	<p>OB会長 高根 基 (第61回卒) 0263-36-2157</p>
<p>松本電気工業(株) OB会副会長 小野 猛 小野 秀樹 (第66回卒) (第96回卒) 0263-47-6585</p>	<p>(有)大和屋商店 木藤 利光 萩原 光雄 (第68回卒) (第75回卒) 0263-33-0512</p>	<p>松本車輜(株) 篠田 泉 (第72回卒) 0263-47-0090</p>	<p>伊原漆器専門店 佐々木 一郎 (第74回卒) 0263-32-0449</p>
<p>お食事処 池国 名古屋 勇 (第85回卒) 0263-32-1451</p>	<p>熊谷製麺(株) 熊谷 宗紀 (第86回卒) 0263-25-1497</p>	<p>(有)ヒロエンタープライズ 松本中央ゴルフセンター 田中 浩正 (第88回卒) 0263-25-2957</p>	<p>サン・フーズ(株) 堤 良一 (第92回卒) 0263-48-7411</p>



OBの現在: (プロ・社会人・大学)

プロ野球

柳澤 裕一 (89回卒)	東北楽天イーグルス	コーチ
上田 佳範 (91回卒)	DeNA横浜ベイスターズ	コーチ
辻 竜太郎 (94回卒)	オリックスバッファローズ	コーチ
深江 真登 (105回卒)		
米国独立リーグ：ゲーリー・サウスショア・レイルキャッツ		外野手
船崎 星矢 (115回卒)	信濃グランセローズ	外野手

社会人野球

辻 利行 (91回卒)	信越クラブ	監督
堀内 俊輔 (106回卒)	信越クラブ	内野手
小林 哲也 (108回卒)	信越クラブ	投手
市原 一樹 (109回卒)	三菱重工広島	外野手
百瀬 雅也 (115回卒)	JX・ENEOS	外野手



大学野球

4年

丸山 雄基	大東文化大学	主将 外野手
熊谷 優	東京国際大学	外野手
神谷 健太	東京国際大学	内野手
清野 雄大	松本大学	学生コーチ

3年

中村昂太郎	福岡大学	外野手
松山 直弘	順天堂大学	学生コーチ
山崎 正樹	専修大学	捕手
古畑 優輝	東海学園大学	外野手
吉崎 達哉	大東文化大学	外野手
太田 魁星	大東文化大学	投手
小林 郁貴	明治学院大学	外野手
吉川 琢己	関西国際大学	投手
川上 郁也	松本大学	投手
大坪 右京	松本大学	投手

2年

古籾 正隆	順天堂大学	捕手
日岐 大成	明治学院大学	内野手
菊地 駿平	東京国際大学	内野手
小倉峻太郎	信州大学	外野手
田中 悠貴	中部学院大学	投手
横内龍之介	東海学園大学	内野手
近藤 雅久	福井工業大学	外野手

1年

酒井 俊樹	城西国際大学	内野手
松原 領汰	拓殖大学	捕手
矢口 直樹	東京農業大学	外野手
新倉 健太	明治学院大学	内野手
森泉 尚生	大東文化大学	内野手
中垣 瑛介	東京国際大学	外野手
中山 陸	東京国際大学	投手
小林 俊瑛	共栄大学	内野手
伊藤 裕太	中部学院大学	外野手
井口 泰星	帝塚山大学	投手
羽賀 和也	石巻専修大学	投手

(文責：圓山 徹)

信州美術工業(株)

青木 壽

(第54回卒) 0263-25-0219

高山商工(有)

OB会顧問 高山 一栄

(第56回卒) 0263-82-3305

(株)大月酒店

会長 大月吉史 社長 大月弘士

(第57回卒) (第83回卒)

0263-28-8500

OB会顧問

末岡 幹也

(第57回卒) 0263-25-0228

開道不動産

二村 康悟 二村 武

(第63回卒) (第91回卒)

0263-39-7750

菓子工房 ミュキドウ

大月 健生 大月 敬三

(第63回卒) (第65回卒)

0263-32-3355

OB会副会長

斎藤 渡

(第64回卒) 0263-58-4577

OB会副会長

福岡 進

(第65回卒) 0263-52-3403

(有)百瀬商店

百瀬 豊 百瀬 研吉

(第74回卒) (第77回卒)

0263-32-2417

(有)米田屋

太田 浩行

(第75回卒) 0263-32-0291

(有)本郷商店

本郷 剛史

(第80回卒) 0263-64-2202

(株)アイシंक

赤羽 勝巳

(第82回卒) 0263-25-2130

